

2024年度 第2回 国内研修（福岡・大分）の開催報告

研修先：福岡県、大分県

期 間：2024年12月10日～12日

参加者：長岡伸剛、白砂伸之、白石潔、山田拓也、森光太郎、庄司徹、山本寛、小野田尊、荒畑誠
計9名

内 容：グリーンLPG研究並びに地熱発電所の視察

この度、2024年度2回目の国内研修を開催し9名が参加しました。視察先は以下の通りです。

- 北九州エコタウンのグリーンLPG製造実証施設
- 北九州市立大学のグリーンLPG研究所
- 九州電力 八丁原地熱発電所

現在、日本国内においていくつかのグリーンLPGについての研究が進められておりますが、今回はその一つである北九州での研究を視察しました。本研究は日本LPG協会が設立した日本グリーンLPGガス推進協議会が主導しており、研究の基礎は北九州市立大学環境技術研究所Green LPG研究室の藤元先生による「中間冷却（ITC）式LPGガス直接合成法」を利用しています。藤元先生の研究室において一定の成果が出たことから、2024年10月に北九州エコタウンに実証施設を建設されました。

今回はまず北九州エコタウンの実証施設を先に視察させていただき、現地スタッフから施設の説明を聞きました。その後北九州市立大学にある藤元先生の研究室を訪問し実験設備を視察し、藤元先生から研究の概要説明を聞き、日本LPG協会の方から日本国内でのグリーンLPGガスの現状についての説明を聞きました。1日目の研修終了後は博多に宿泊し、水炊きや屋台のラーメンを堪能しました。

2日目の研修は福岡から大分に移動し、九州電力の八丁原地熱発電所を視察しました。運営している九電みらいエネジーの方から映像を交えた説明を聞いた後、地熱発電所の施設・設備を視察しました。視察後は別府の宿泊施設までの途中にある、大分アフリカンサファリや別府温泉地獄めぐりを楽しみました。

2日目の宿泊先である別府の「杉乃井ホテル」は、今から50年前に全国高圧ガス容器検査協会（全検協）の前身である全国高圧ガス容器検査所連合会（全検連）の設立総会が行われた場所です。私たちの祖父母や親が設立した全検連から数えて50周年となる本年、私たち青年部会のメンバーがこの場所を訪れたことに感慨深いものがありました。

3日目は早めに帰るメンバーを大分空港まで送った後、福岡県に戻って太宰府天満宮を参拝してから博多駅で解散としました。

今回ご協力いただきました各方面の皆様に御礼申し上げますとともに、参加したメンバーに感謝致します。ありがとうございました。

全国高圧ガス容器検査協会青年部会
顧問 山田 拓也



北九州エコタウンの実証施設を視察



北九州市立大学にて藤元先生からの説明と質疑応答



九州電力の八丁原地熱発電所を視察



50年前に全検連の設立総会が行われた杉乃井ホテル